

七し面ち天め女ん物て語ん

角田の岩屋

修法の祈りと舞と演奏



舞・太鼓 小島千絵子 (鼓童名誉団員)

撮影：樋口 政司

文永8(1271)年佐渡配流の日蓮聖人が角田浜に漂着、土地の古老の願いで岩屋に住む“七頭一尾”の大蛇を教化されました。改心した大蛇は法華経信者を守護する七面天女として身延・七面山(山梨県)に移り、広く全国でも祀られています。この伝承を厳粛な修法と奉納舞による再現で、霊地としての岩屋と生きる活力が体感できます。

5月27日(土)

■1座目 14:00 ■2座目 17:00 ※両座とも30分前開場

■入場料 1,000円 (小学生以上)

■会場 角田浜 日蓮聖人霊跡 岩屋

下記駐車場からいずれも徒歩5分くらい

●角田山妙光寺駐車場 (係員が誘導します)

●角田浜海水浴場駐車場

(係員がいません。国道402号線横断にご注意ください)

■主催・申込み・問合せ

角田山妙光寺

新潟市西蒲区角田浜1056 TEL. 0256-77-2025

■入場券取り扱い

妙光寺、カーブドッチワイナリー、燦燦カフェ、ラーメンなみ福、砂丘館、新潟絵屋



読経・修法 戸田日晨僧正

撮影：藤田 庄市



七面大蛇教化の図：高橋郁丸



撮影：岡本隆史

小島千絵子 舞・太鼓
鼓童名誉団員

1976年「鬼太鼓座」に入座。1981年「鼓童」創設メンバーで、太鼓中心の舞台の中で独自の舞踊の世界を切り拓いている。歌舞伎の坂東玉三郎主演、演出の「アマテラス」でアメノウズメを演じ、鮮烈な印象を残した。2012年文化庁文化交流使としてヨーロッパを訪問、日本はもとより世界を舞台に、舞と太鼓のソロ活動を展開している。2019年、芸歴40周年記念公演「千の舞」を開催。



撮影：岡本隆史

妙光寺講中 団扇太鼓・太鼓

地域で信仰を共にする人たちの集まりを「講中」と呼び、江戸時代から盛んになった。妙光寺も集落毎に現在も残るが、どこも後継者難にある。

STAFF



撮影：藤田庄市

戸田日晨 読経・修法

遠壽院大荒行堂・伝師 日蓮聖人は法華経の経文を抜粋し、それを基に祈祷を行なった。これが修法と呼ぶ独特の祈祷法として現代に伝わる。遠壽院大荒行堂では法華経信仰の内面化と修法の伝授を目的に、毎年11月から翌年2月までの寒中100日間、1日3時間の睡眠、7回の水行、読経を中心にした祈祷相伝の荒行道場を開設。戸田伝師は國學院大学哲学科卒業後5回の修行を経て、1989年から遠壽院住職、大荒行堂伝師として修行僧の指導にあたる。国内外のシンポジウム等で「行」について発表。



岩坂富美子 シンセサイザー

作曲家・キーボード奏者。滋賀大学教育学部卒。これまでに万葉集をテーマにした「戀の花語り」、金子みすゞの詩による連作、語りと音楽「鳥は靴を履かない」(武部治代の詩による作・作曲上演)や音楽劇「ヤマタノオロチ」作・作曲など。京都芸術祭毎日新聞社賞受賞。アカンサス音楽教育研究所滋賀支部長。ムジカA国際音楽協会会員。



中野巨 古代笛、他

縄文笛・弥生笛など。京焼・道八窯で9年間修行。南米ペルーでブレインカの土器を研究。1985年工房を滋賀県東近江市に設立。以来、毎年各地で個展を開催。土の息吹を感じ取りながら、土の造形と土の音が織りなす響きに独自の世界を見いだしている。



飯森よしえ 衣装

草木染工房「紫絲野工房」主宰 個展・工房展を多数開催。大津京物語シリーズの舞台衣装を手掛ける。小島千絵子の舞台衣装も多く手掛け、草木染の気品と優美さをもつ衣装で上質な舞台を作り上げている。



長谷川政行 音響

(株)ソルサウンドサービス代表 多くの一流演奏家の舞台を作る。演奏者と一体になった空間づくりに欠かせない存在である。

■入場券取り扱い

- 角田山妙光寺 TEL.0256-77-2025
- カーブドッチワイナリー ● 燦々カフェ
- ラーメンなみ福 ● 砂丘館(中央区) ● 新潟絵屋(中央区)